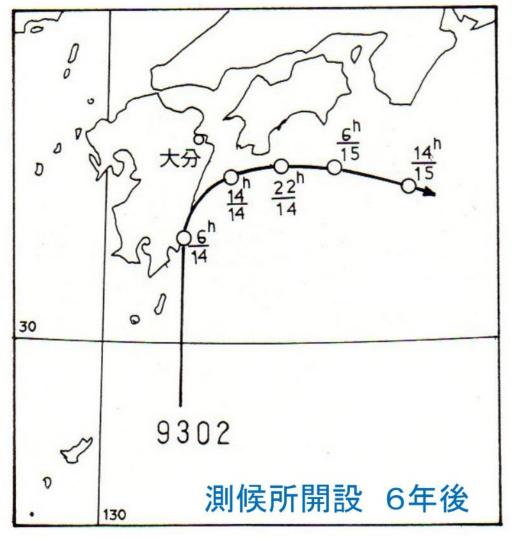
大分の過去の洪水

2019.11.13 花宮さんから提供





当時 県下は 280町村 99%の276町村被災

大分川·大野川·駅館川 山国川流域 特に被害大

大分・中津・臼杵・佐伯の 平野部の町並み 水浸し

死者・不明者 266名 家屋の全壊・流失 1846棟 堤防破損 5111か所 崖崩れ 10308か所

明治26(1893)年10月13~14日 台風2号 14日10時30分 984.7hPa 北東18.6m/s 総降水量 404.6 1 14日午前中 250 1



水難慰霊碑

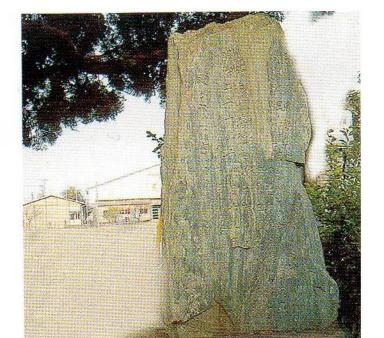


明治26年(1893)の大洪水で 水死した鶴瀬78人の供養に再建 されました。元は大野川の堤防 上にありましたが、昭和18年の 台風で流失しました。

ところが建設中の鶴瀬自動車学校の建設現場から碑の一部が出土し地元と自動車学校と相談の上再建されました。

水難横死生徒の碑

明治26年(1893)10月14日洪水で横 死した児童八名の追悼のために旧高田 小学校のあった下徳丸字屋敷に建立され、その後学校の移転に付属して現在の 高田小学校の地に移されました。 碑文は毛利莫(さざむ、毛利空桑の3男)







大分川流域 死者11名 負傷者 56名 流失家屋78戸 全半壊家屋360戸 床上浸水1298戸 床下浸水8994戸

